

# アイロンで貼るコットン布シール

この度は、サンワサプライのインクジェット用アイロンで貼るコットン布シールをご購入いただき、誠にありがとうございます。この用紙はインクジェットプリンタで印刷した画像をアイロンを使って布に貼り付けることのできる用紙です。この用紙を正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。

## ご使用になる前にご確認ください。

コットン布をベースとしているため、通常のインクジェット専用紙などに印刷したときと比べて、少し淡い発色です。予めご了承ください。

インクジェットプリンタのインクの性質上、洗濯を重ねると色落ちしたり、アイロンが足りないとはがれたり、また、洗濯方法に気をつけていただく必要があります。用紙自体の耐久性も高めましたが、デメリットもご理解いただいた上でご使用いただけますようお願いいたします。

一度アイロンで貼り付けるとはがすことはできませんので、ご注意ください。高価な素材や特別な素材にはご使用にならないでください。

表面に防水加工のしてあるもの、表面の粗いもの、凹凸の大きい生地、伸縮性のある生地、タオル地など毛羽立ちのある生地、極端に厚手の生地には対応しません。アイロンでうまく貼れなかったり、使用中、または洗濯中にはがれたりする恐れがあります。

## ▲安全上のご注意

アイロンを使用しますので、やけど、火災に十分ご注意ください。特にお子さまだけによる取り扱いはおやめください。  
ご使用前に本製品とご使用になるアイロンの取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

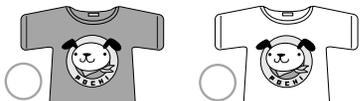
## アイロン貼り付け可能な布

綿および綿ポリエステル素材のもの、160～180度でアイロンがかけられるもの。

表面に防水加工のしてあるもの、表面の粗いもの、凹凸の大きい生地、伸縮性のある生地、タオル地など毛羽立ちのある生地、極端に厚手の生地には対応しません。(アイロンでうまく貼れなかったり、使用中、または洗濯中にはがれたりする恐れがあります。)

注:凹凸がある生地や硬い生地では、アイロン後、生地の目がコットン布シール部分に出てきて、アイロン貼り付け前と雰囲気異なることがありますので、ご注意ください。

### 生地色について



下地:濃い色

下地:白または淡色

コットン布シールをそのまま上から貼り付けるので、下地のTシャツ等の布の色が黒や赤などの濃色でも透けて見えます。下地の色が濃い色でも、印刷していない白い部分はそのまま白く表現されます。

## 準備するもの

**貼り付けたい布地**  
(綿及び綿ポリエステル素材)  
素材については「アイロン貼り付け可能な布」をごらんください。

**表面が堅めのアイロン台または、堅くて丈夫な台(テーブルやこたつ板などの上に、厚手の紙や布を敷いたもの)**

**セット内容**  
コットン布シール  
説明書.....1部

**アイロン**

**表面**

**コットン布シール裏に剝離紙がついています。**

**普通紙**

## 使用方法

### ① デザインをします。

好きな画像、イラストを使ってあらかじめデザインをします。その後、コットン布シールの表面に正像でプリントします。

パッケージに使っているコットン布シールのイラストの他、かわいイラストがサンワサプライのサイトよりダウンロードできます。最新の情報、自由に使える画像やイラストなどの素材のダウンロードについては、用紙専用サイト「ペーパーミュージアム」<http://www.sanwa.co.jp/paper/>または、<http://www.sanwa.co.jp/hgo/>

#### ご注意

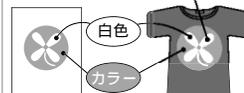
用紙のまわりが汚れやすくなるので、フチなし全面印刷はしないでください。(フチなし全面印刷用のデザインはしないでください。)



白色が簡単に作れる!!

コットン布シールの「印刷しない部分」がそのまま白色で布地の上のいる性質を使って白色を作ることができます。

印刷しない部分が下地によって白色に。



印刷した用紙

コットン布シールをアイロン貼り付けたTシャツ

### ② 印刷をします。デザインした画像をそのまま正像でコットン布シールに印刷します。

#### プリンタについて

この用紙が使えるのは、右記のプリンタです。

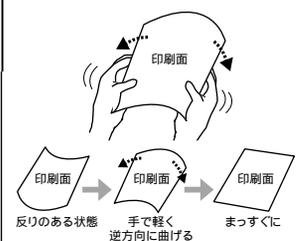
**エプソン**: フォトマッハジェットプリンタ(PM・PX・CCシリーズ)  
\*PM-4000PX、PX-G920・V500などの顔料系インクにも対応  
マッハジェットプリンタ(MJシリーズ)  
**キャノン**: i宝(ブルジェットプリンタ(BJ)・BJC・PIXUSシリーズ)  
レックスマーク: カラーインクジェットプリンタ(フォトに非対応)  
hp・NEC製プリンタでは、洗濯時の色落ちが激しいため対応しておりません。

#### 印刷について

- 1) 用紙サイズを必ず「はがき」にしてください。
- 2) コットン布面が表面になります。(裏面にはチェック模様が入っています。表面がプリンタのノズル側になるように用紙をプリンタに差込んでください。
- 3) この用紙は手差しで1枚1枚給紙してください。給紙されにくい時は、用紙の後ろにはがきサイズの堅めの台紙を置いてください。
- 4) 使用するプリンタの機種によりわずかに濃淡の差があることがあります。その場合は、各機種の取扱説明書に従い濃度調整を行ってください。また、プリンタ各種に応じたカラーバランス・ガンマ補正・各色の濃度を調節してください。
- 5) 下記の用紙設定に従い、正像プリントします。

#### ご注意

●用紙の特性上、用紙に反りがあると、印刷開始位置にインク汚れが出る場合があります。反りが見られるときは下記の図のように用紙を軽く曲げ、反りをなくしてください。(あまりひどく折り曲げないでください。また、このとき印刷面が波打ったり汚れたりしないようお気を付けてください。)



用紙の周りが汚れやすくなりますので、フチなし全面印刷はしないでください。

●用紙設定でキャノン、エプソンなどの「Tシャツ転写紙」、「アイロンプリントペーパー」は選ばないでください。画像が反転されてしまいます。黒や濃い色を多く使って印刷するとき、プリンタによってはローラーのあとがつくことがあります。

裏表を間違えないようにプリンタにセットしてください。

裏面にチェックの模様が入っています。

画像を反転させないでください

あ 正像      あ 反転

○              ×

## 2 のつづき

### 用紙設定・モード設定(例)

印刷の際には下記の方法設定でご利用いただくと良好な画像を得ることができます。

	用紙設定	印刷モード
エプソン※1	EPSONスーパーファイン紙	きれい
キヤノン	高級位専用紙	きれい
富士ゼロックス・レックスマーク	IJ専用紙	ベスト

※1:エプソンプリンタ PM-400OPX、PX-G920・V500、CC-600PXなどの全色顔料系インクにも対応しています。  
 ※注:hp・NEC製プリンタなど上記以外のプリンタには対応しておりません。

## 3 コットン布シールの余白部分を切り取ります。

イラストにそって余白部分をキレイに切ってください。

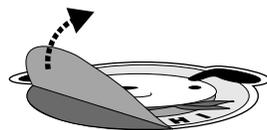


### ご注意

画像に合わせて周囲をきれいに切り取ってください。白く残った部分はすべてそのまま白く、貼り付けられてしまいます。複雑な形にされますと、後ではがしにくくなるのでご注意ください。印刷後は、20～30分以上乾燥させてから速やかにアイロンで貼り付けてください。印刷後は、長時間放置しないでください。にじみや色あせ

## 4 コットン布シールをはがします。

はがすときは、端や角からゆっくりとめくると簡単にとれます。



### ご注意

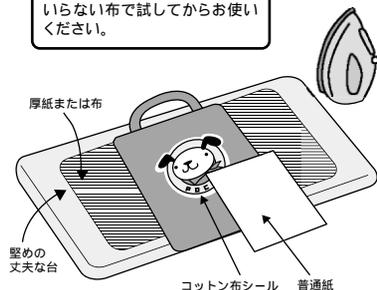
シールの端から糸が出てくる場合がありますが、その際はハサミで切って整えてください。

## 5 堅めのアイロン台とアイロン、貼り付ける布、普通紙を用意します。

表面の堅いアイロン台または堅めの丈夫な台と、Tシャツなど綿または綿がり素材の布、普通紙を用意します。アイロン貼り付けできる布についてよく確認の上、作業を行ってください。

### 注

一度貼るとはがせません！  
 いらぬ布で試してからお使いください。

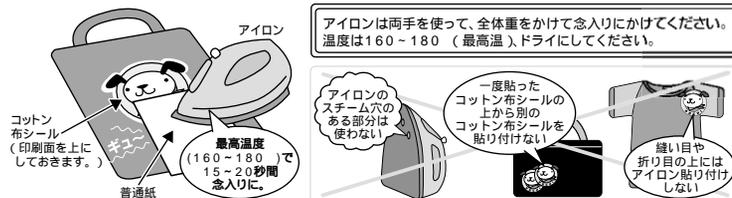


### ご注意

綿または綿がり素材で、160～180度でアイロンがけできる布にアイロンで貼り付けできます。  
 ●防水加工のもの、織り目の粗いもの、縫い目のある部分へのアイロン貼り付けには適しません。「防水加工」と表示がない商品もありますのでご注意ください。  
 布製品の中には表面に油分を含んでいるものがあります。そのまま貼り付けると、洗濯時にはがれやすくなる場合があります。一度洗濯をおこなってアイロン貼り付けをおすすめします。  
 Tシャツなど布にしわがある時は、あらかじめアイロンでしわをばしておいてください。  
 毛羽立っている生地やよく伸び縮みする生地へのアイロン貼り付けは、生地自体の伸縮や洗濯によってははがれ起こることがありますので、避けてください。  
 凸凹の大きな生地へのアイロン貼り付けは、凹んだ部分にシールの樹脂が入り込まず接着不良となり、使用中または洗濯中にはがれおそれがあります。ご注意ください。  
 凸凹のある生地や硬い生地へアイロン貼り付けした場合、生地が目か表面にできて印刷されたものと少し異なることがあります。

## 6 アイロンをかけます。

貼り付けたい位置にコットン布シールを印刷面を上にして置き、普通紙をあてて、両手で体重をかけてから強く押さえつけるようにしっかりアイロンをかけます。



### ご注意

#### アイロンについて

アイロンは約5分間、予熱してください。スチームの使用はしないでください。家庭用アイロンでスチーム穴があるときは、その部分でムラが発生しやすいので、穴のない平らな面を使ってアイロン貼り付けてください。

- コードレスアイロンの場合、アイロン中に温度が低下しますので、こまめに充熱してください。また、200度以上にならないようにしてください。接着力が低下します。

#### ★アイロン貼り付けについて(アイロンがけのコツと注意)

画像の大きさ、印刷内容によって、アイロンをかける時間を変えてください。画像の濃度が濃いもの、またアイロンが小さく貼り付け部分がアイロンからはみ出すときは、アイロンをかける回数と時間を多めにしてください。その際、布やコットン布シールが焦げないようご注意ください。必ず1カ所「15～20秒ずつ押さえつける」作業を2～3回繰り返して、全面に均等に熱と力加わるようにしてください。特に周辺と角にしっかりアイロンをかけてください。

- コットン布シールの裏表を間違えないようご注意ください。逆に直くとアイロンまたは普通紙についてしまいます。普通紙にして、直接貼り付け部分にアイロンをかけないでください。均一に熱が加わらないとムラができ、きれいに貼り付けできません。
- アイロンが不十分だと色落ちしやすかったり、洗濯時にコットン布シール部分がはがれやすくなります。間違えて貼り付けしたコットン布シールの上から、別のコットン布シールを貼り付けしないでください。色にじみ、色落ち、はがれの原因になります。
- 加熱中に蒸気および臭気が発生することがありますので、換気のよい所で作業してください。
- アイロンの熱や作業によっては、素材を焦がす恐れ、またカラー布は変色する恐れがあります。注意しながら作業をすすめてください。一度貼り付けると、はがすことはできませんので、慣れるまではいらぬ布で試してからご利用されることをおすすめします。
- エプソンプリンタPX-G・Vシリーズなどの顔料系インクで印刷したコットン布シールを使うと、インクの特性上、アイロン貼り付け後に印刷部分の黄色味が強くなる場合があります。また、そのときインクが昇華して普通紙を黄色く染める場合があります。そのときと同じ普通紙を再度利用しないで破棄してください。そのまま使うと、昇華したインクが生地などを汚すおそれがあります。

## 7 できあがり!!

アイロンをかけることで水性インクが染まり、色落ちしにくくなります。またアイロンで加熱することでインクが定着することで色落ちしにくくなり、洗濯を繰り返しても色あせがほとんどありません。初めは余分なインクが水洗いなどにより多少流れ出てきます。10回程度の洗濯では色落ちなどの心配はありません。それ以上の洗濯では若干色があせてくる場合があります。(但し、全ての条件に従って印刷・転写されている場合)

### ご注意

コットン布シールをアイロンで貼り付けた衣類を着用したまま、水や海水(塩水)につかったり泳いだりしないでください。にじみや色落ちが生じることがあります。コットン布シールを貼り付けたTシャツなどの布を着用中、または着用後に肌荒れなど肌に異常があった場合は直ちに着用をやめてください。重ね着による色移りのおそれがありますので、一度洗濯してからの着用をおすすめします。アイロン貼り付け後、24時間経過後洗濯を行ってください



## 洗濯について

**重要** 誤った洗濯方法は、色落ちやにじみ、はがれなど不具合をおこす原因となります。下記の指示に従ってください

用紙自体の耐久性を高めてはいますが、インクジェットプリンタで印刷しているため、通常の洗濯ものと異なるデリケートな取扱が必要となります。市販されているプリントシャツやバッグなどと同様に扱わないようにしてください。下記の注意に従って、洗濯機で洗濯してください。(手洗いはしないでください。)

以下の方法に従わない洗濯方法ではご使用にならないでください。

注:耐水性・洗濯耐久性を上げましたが、なるべく汗や雨など水に濡れた状態で長時間放置しないでください。また、長時間水に浸さないでください。にじみが出たり、色移りしていただくことがあります。(やむを得ず放置される時は、印刷部分以外の布に触れないよう、形を整えてください。色移りを選避することができます。)



シール部分を裏返し、ネットに入れてください。アイロンのかけ方が不十分だと色落ちすることがありますので、他の衣類とは分けて洗濯してください。

冷水で、家庭用洗濯機で弱流にして洗ってください。30℃以上の温水や塩水での洗濯は避けてください。(お風呂の残り湯などはにじみや色落ちの原因になることがありますので、使用しないでください。)

③市販の洗濯洗剤を使用してください。(但し、漂白剤入りの洗剤、漂白剤、柔軟剤は使用しないでください。)

洗濯後・脱水後は、直に取り出し、形を整えて陰干ししてください。乾燥機のご使用はお避けください。また、濡れた状態で強くこすったりすると、色移りがありますので避けてください。

### 洗濯する際のご注意

つけおきはしないでください。

色落ちの原因になりますので、ドライクリーニングはしないでください。

洗濯にはかならず冷水をお使いください。風呂の残り湯は使わないでください。また、手洗いはしないでください。

漂白剤、柔軟剤は使わないでください。

マイナスイオン洗濯、タンブラー洗濯など、特殊な洗濯方法は選ばないでください。激しく色落ちすることがあ

## 洗濯後のアイロンがけについて

洗濯堅牢性に優れていますが、万一コットン布シールの一部がはがれ、浮き上がりが見られたら再度普通紙を介して加熱加圧することをお勧めします。アイロンをかけると、コットン布シールは元通りに貼り付けられます。アイロンのかけ方は、P.3・4を参照ください。

コットン布シール部分にアイロンをかけるときは、必ずその部分に普通紙を置いて行ってください。

## 使用上の注意

- 対応布、対応プリンタ、アイロンの仕方、洗濯方法など、ここに記載されている以外の方法でご使用になられた場合に生じた不具合について、当社では一切の責を負いかねます。予めご了承ください。
- アイロンを使用しますので、やけど、火災にご注意ください。特にお子さまだけによる取り扱いはおやめください。
- ご使用前に本製品とアイロンの取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 印刷面をこすったり、傷をつけたら、折り曲げたりしないでください。  
プリンタの種類、プリンタの印刷モード、インク、ドライバソフトなどにより画像色・画像の精細さが変わることがあります。
- 布地に一度アイロン貼り付けされたものははがすことはできませんので、テストを行ってから本番の布にアイロン貼り付けてください。また、失敗の責任は負いかねますのでご了承ください。  
用紙は必要なだけ取り出し、開封後はなるべく早めにお使いください。(開封後2ヶ月まで)  
コピー機、レーザープリンタ、ドットプリンタ、熱転写プリンタなどインクジェットプリンタ以外では使用できません。

## 保管上の注意

使用しない用紙は必ずビニール袋に入れて気温40℃以下、湿度80%以下の場所で重量がかからないようにして、水平にして保管してください。外で長い時間放置いたしますと、反りが発生したりする可能性があります。

高温、高湿、直射日光、蛍光灯の光など、また空気の流れ(空調など)のある場所を避けて保管してください。

開め切った車内やトランクなど、高温になる条件での保管は避けてください。

開封後はなるべく早めにお使いください。

**開封後、2ヶ月以内に早めにお使いください。**

## その他のサイズ、アイロン不要のコットン布シールもあります

### アイロンで貼るコットン布シール



#### その他のサイズ

A4サイズ・ノーカット  
A4サイズのコットン布シール。  
好きな形にカットできるノー  
カットタイプ。  
JP-NU5



A5サイズ・ノーカット  
A5サイズのコットン布シール。  
ゼッケンに最適なノーカ  
ットタイプ。  
JP-NU5A5



お名前用  
あらかじめお名前シールの形  
にカットしてあるアイロンで  
貼るコットン布シール。  
LB-NAMEJP17NU5

### アイロン不要のコットン布シール



A4サイズ・ノーカット  
アイロンが使えないものに。  
A4サイズのコットン布シール。  
好きな形にカットできるノー  
カットタイプ。  
JP-NU4



ハガキサイズ・ノーカット  
アイロンが使えないものに。  
ハガキサイズのコットン布シール。  
好きな形にカットできるノーカ  
ットタイプ。  
JP-NU4A6



お名前用  
アイロンが使えないものに。  
あらかじめお名前シールの形に  
カットしてあるコットン布シ  
ール。  
LB-NAMEJP17NU4

万一製造上の不備がございました場合には、同数の新しい製品と取り替えます。それ以外の責はご容赦いただきます。  
本製品は光や保管条件によって変色、退色いたしますが、この点についての取扱い替え、その他の補償はご容赦いただきます。  
商品改良のため、仕様・外観は予告無しに変更することがありますのでご了承ください。  
記載の社名及び製品名は一般に各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社  
www.sanwa.co.jp